

生命産業ビジネス学科 カリキュラムマップ(2025年度以降入学生用)

教育目標: 生命産業ビジネス学科は、食品、農業、環境及び地域活性化等の多分野において、経済学及び経営学に関わる問題解決能力と実践力を身につけた人材を育成する。										
学位授与方針: 食品、農業、環境及び地域活性化等の分野において、経済学及び経営学を分野横断的に応用して地域社会が抱える課題の解決に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士(応用生命科学)」の学位を授与する。			(1) プロフェッショナルリズム				(2) コミュニケーション力	(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能	(4) 問題発見・解決力	(5) 地域貢献力
◎:ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○:ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △:ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。	・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
教養必修科目	英語Ⅰ	1前	○		○		◎	○		
	英語Ⅱ	1後	○		○		◎	○		
	フレッシュヤーズセミナー	1前	◎		○		◎	△	△	△
	早期体験学習	1前	◎		○		◎	△	△	△
	健康管理	1後			△		◎			
	英語Ⅲ	2前	△	△	△	△	◎		△	
	英語Ⅳ	2後	△	△	△	△	◎		△	
	キャリア形成実践演習	1後～2後	○	○	○		◎			△
	情報リテラシー基礎	1前	◎	△	○	△	◎		◎	○
	情報リテラシー応用	1後	○	◎	○	○	◎	△	◎	◎
	統計学	1前		◎	○		○		○	○
教養選択科目	英語コミュニケーションⅠ	1前	○	○	○		◎	○		
	英語コミュニケーションⅡ	1後	○	○	○		◎	○		
	上級英語リーディング	2前	△	○	○	○	◎	△	△	△
	TOEIC®演習Ⅰ	2後		◎	○		◎			
	TOEIC®演習Ⅱ	3前		◎	○		◎			
	ドイツ語	1通	△	◎	◎	◎	◎	△	○	△
	中国語	1通	△	◎	◎	○	△	○	◎	△
	韓国語	1通	△	○	○	△	◎			
	海外語学研修	2通	○	○	○		◎	○		
	ビジネス英語	3前	○	○	○		◎	○		
	地学	1後	○	○	○	○	◎	○	◎	○
	基礎数学	1前		◎	○		○		○	○
	気象学	1後		△				○	◎	◎
	昆虫と人のかかわり	1後		△	△	○		○	◎	△
	医療・生命科学に親しむ	1後	○	△	○		○	◎	○	
	アロマセラピー	1通	○	○	△	○	○	○	○	○
	バイオとフードに関する法律	1後	◎					○	○	△
	生命・医療倫理	1前	◎	○			○		◎	
	科学技術論	1前	○	◎	○	△	○	△	◎	○
	法学	1後						◎	○	

生命産業ビジネス学科 カリキュラムマップ(2025年度以降入学生用)

教育目標: 生命産業ビジネス学科は、食品、農業、環境及び地域活性化等の多分野において、経済学及び経営学に関わる問題解決能力と実践力を身につけた人材を育成する。										
学位授与方針: 食品、農業、環境及び地域活性化等の分野において、経済学及び経営学を分野横断的に応用して地域社会が抱える課題の解決に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士(応用生命科学)」の学位を授与する。			(1) プロフェッショナルリズム				(2) コミュニケーション力	(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能	(4) 問題発見・解決力	(5) 地域貢献力
◎:ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○:ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △:ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。	・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
	歴史学	1前		○	○		◎	△		△
	マス・メディア論	1前						○	◎	
	哲学	1後		◎	◎		○		◎	○
	文化人類学	1後	◎				◎		△	○
	社会心理学	1前	◎		○		○			
	職業とキャリア形成Ⅰ	2通			○		◎		△	△
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○
	職業とキャリア形成Ⅱ	3後			○		◎		△	△
	インターンシップ実践演習	2通		◎	○		◎	○	○	◎
	スポーツ	1前			△		△			
専門必修科目	生物学入門	1前		◎	◎			○	○	
	化学入門	1前		◎	◎			○	○	
	ビジネス実践演習	1通		◎	○		○	◎	◎	○
	地域活性化フィールドワークⅠ	1後	◎	◎	○		○	△	◎	◎
	プログラミング基礎	2通	△	○					◎	△
	ブランド構築論	2前		○	△		△	○	◎	◎
	経営管理論	2前			○			◎	△	△
	経済学	1前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	環境概論	2前	○			○	△	○	○	○
	地域産業ビジネス論	2前	△					○		◎
	マーケティング論	1前		○				◎	○	△
	経営戦略論・経営組織論	2後			○			◎	○	△
	農業ビジネス論Ⅰ	1後		△			△	◎	○	○
	会計学	1後	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎
	地域活性化フィールドワークⅡ	3前	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
	食品商品学	3前	◎			△		◎	○	○
	ゼミナールⅠ	3前		◎	○			◎	◎	◎
	ゼミナールⅡ	3後		◎	○			◎	◎	◎
	リサーチ・イングリッシュ	3後		○				○	△	△

生命産業ビジネス学科 カリキュラムマップ(2025年度以降入学生用)

教育目標: 生命産業ビジネス学科は、食品、農業、環境及び地域活性化等の多分野において、経済学及び経営学に関わる問題解決能力と実践力を身につけた人材を育成する。										
学位授与方針: 食品、農業、環境及び地域活性化等の分野において、経済学及び経営学を分野横断的に応用して地域社会が抱える課題の解決に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士(応用生命科学)」の学位を授与する。			(1) プロフェッショナリズム				(2) コミュニケーション力	(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能	(4) 問題発見・解決力	(5) 地域貢献力
◎:ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○:ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △:ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。	・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
専門選択科目	卒業研究Ⅰ	4前	△	○	△	○	○	◎	◎	○
	卒業研究Ⅱ	4後	△	◎	○	○	○	◎	◎	○
	食文化論Ⅰ	2前	◎					○		◎
	食文化論Ⅱ	2前	◎					○		△
	食品経済学	2後		△			△	◎	○	○
	産業組織論	2前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	食品管理論	2前	△			○		◎	○	
	食品・植物資源論	2後	○				△		◎	◎
	食品開発論Ⅰ	2後				△		○	◎	○
	サービスマーケティング	2後	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○
	農業ビジネス論Ⅱ	2後		△	△		○	○	○	◎
	地域コミュニケーション演習	2通	◎	◎	◎		◎		△	△
	ビジネスプロデュース論	3前	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境汚染論	2後	○				○		○	○
	農業経済学	2後		△			△	◎	○	○
	商品デザイン論	3後		△	△		△	○	◎	◎
	コンサルティング論	3前	△	○	○	○	○	◎	◎	◎
	知的財産論	3後	○	○			◎	◎	○	
	食品製造論	3前	○	◎	○		△	△	○	◎
	環境修復論	3前	○	○				○	△	
	食品開発論Ⅱ	3前	△	○	△		◎	○	◎	△
	食品産業の危機管理	3後	○	◎	△		○	○	◎	
	行動経済学	1後	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	経済と税法	1前	△	◎	◎		○		○	
	消費者行動論	1後	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○
	都市経済学	2前	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎
	ビジネスデータ解析	2後	○	○			△	◎	○	◎
	スマート農業・食品産業	2後	◎	○	○	○		◎	◎	◎
	持続可能性とビジネス	2後	○	○			○	○	○	◎
	環境と情報	3前	○	◎			○	◎	◎	○
	エネルギーとリサイクル	3前	○				○	○	△	○

生命産業ビジネス学科 カリキュラムマップ(2025年度以降入学生用)

教育目標: 生命産業ビジネス学科は、食品、農業、環境及び地域活性化等の多分野において、経済学及び経営学に関わる問題解決能力と実践力を身につけた人材を育成する。										
学位授与方針: 食品、農業、環境及び地域活性化等の分野において、経済学及び経営学を分野横断的に応用して地域社会が抱える課題の解決に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士(応用生命科学)」の学位を授与する。			(1) プロフェッショナリズム				(2) コミュニケーション力	(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能	(4) 問題発見・解決力	(5) 地域貢献力
◎:ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○:ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △:ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。	・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
	国際中小企業論	3前	○	◎				◎	○	△
	経済経営データ分析	3前	◎	◎	○		○	◎	◎	○
	国際食品ビジネス論	2前	○				○	◎	◎	
	海外ビジネス研修Ⅰ	2後	○				○	◎	◎	
	海外ビジネス研修Ⅱ	3前	○				○	◎	◎	
	食品化学	2前	△	△	△			○	◎	△
	食品分析学	2後		◎	○			○	○	○
	栄養科学	2後		○	△			◎	△	
	酵素化学	2後		△					○	△
	化学工業と循環社会	3前			○			○	◎	○
	食品微生物学	3前	○	△						
	機能食品科学	3前		△	○		○	◎	△	
	発酵醸造学	3前	△					◎	○	△
	栄養生理学	3前		◎	○			○	○	○
	食中毒疫学	3前	○	△				◎	◎	
	廃棄物管理工学	3後	△	○	○	△		△	○	○
	食品安全学	3後	○	○			◎		○	
	食品流通学	3後	◎					◎	○	△
	公衆衛生学	3後	◎				◎		○	○
	環境管理工学	3後	△	◎			○		○	
	食品の予防コントロール	4前		○	○		◎	○	◎	
自由科目	香粧品の科学	3後		○	○	○		○	○	○
	教育心理学	2後	△	○	○	◎	◎		△	△

生命産業ビジネス学科 カリキュラムマップ（2023年度以降入学生用）

教育目標： 生命産業創造学科は、食品、農業、環境及び健康等の生命に関わる産業において、経済学及び経営学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。										
学位授与方針：			(1) プロフェッショナリズム			(2) コミュニケーション力		(3) 経済学・経営学関連		(5) 地域貢献力
食品、農業、環境及び健康等の産業において、経済学及び経営学を応用して地域社会に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士（応用生命科学）」の学位を授与する。 ◎：ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○：ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △：ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。			・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。		・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。		・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。
			・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。			領域の知識・技能 ・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。		・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。		・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
教養必修科目	英語Ⅰ	1前	○			○		◎	○	
	英語Ⅱ	1後	○			○		◎	○	
	フレッシュャーズ・セミナー	1前	◎			○		◎	△	△
	早期体験学習	1前	◎			○		◎	△	△
	健康管理	1後				△		◎		
	英語Ⅲ	2前	△	△	△	△		◎	△	
	英語Ⅳ	2後	△	△	△	△		◎	△	
	キャリア形成実践演習	1後～3後	○	○	○			◎		△
	情報リテラシー基礎	1前	◎	△	○	△		◎	◎	○
教養選択科目	情報リテラシー応用	1後	○	◎	○	○		◎	△	◎
	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	○	○	○			◎	○	
	コミュニケーション英語Ⅱ	1後	○	○	○			◎	○	
	上級リーディング英語	2前	△	○	○	○		◎	△	△
	TOEIC英語Ⅰ	2後		◎	○			◎		
	TOEIC英語Ⅱ	3前		◎	○			◎		
	ドイツ語	1通	△	◎	◎	◎		◎	△	○
	中国語	1通	△	◎	◎	○		△	○	◎
	コリア語	1通	△	○	○	△		◎		
	ロシア語	1通	△	◎	○	△		◎		
	海外語学研修	2通	○	○	○			◎	○	
	ビジネス英語	3前	○	○	○			◎	○	
	地学	1後	○	○	○	○		◎	○	○
	確率と統計	1前		◎	○			○	○	○
	気象学	1後		△					○	◎
	昆虫と人のかかわり	1後		△	△	○			○	◎
	プログラミング基礎	2通	△	○					◎	△
	バイオとフードを巡る国際関係論	1後	○	○	○	○		○	◎	◎
	バイオとフードに関する法律	1後	◎						○	△
	生命倫理	1前	◎	○				○	◎	
	科学技術論	1前	○	◎	○	△		○	△	○
	法学	1後							◎	○
	歴史学	1前		○	○			◎	△	△
	マス・メディア論	1前							○	◎
	哲学	1後		◎	◎			○	◎	○
	文化人類学	1後	◎					◎	△	○
	職業とキャリア形成Ⅰ	2通			○			◎	△	△
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2通	○	○	○	△		○	○	○
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2通	○	○	○	△		○	○	○
	職業とキャリア形成Ⅱ	3後			○			◎	△	△

専 門 必 修 科 目	スポーツ	1前			△		△			
	アロマセラピー	1通	○	○	△	○	○	○	○	○
	生物学入門	1前		◎	◎			○	○	
	化学入門	1前		◎	◎			○	○	
	食品・環境科学入門実験	1通		◎	○		○		△	
	地域活性化フィールドワークⅠ	1後	◎	◎	○		○	△	◎	◎
	学習論	1前		◎	◎				○	
	ITアドバンス	2前	△	○	○			○	◎	○
	食品管理論	2前	△			○		◎	○	
	ブランド構築論	2前		○	△		△	○	◎	◎
	経営管理論	1前			○			◎	△	△
	基礎経済学Ⅰ	1前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	基礎経済学Ⅱ	1後	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境科学概論	2前	○			○	△	○	○	○
	社会調査論	3前	◎	△	◎		△	○	○	◎
	地域産業ビジネス論	2前	△					○		◎
	論理的思考論	1後		◎	◎				◎	
	レギュラトリーサイエンス	3前	△	◎			○		○	
	マーケティング論	2前		○				◎	○	△
	経営組織論	2後			○			◎	○	△
	農業ビジネス論Ⅰ	1後		△			△	◎	○	○
	会計学	1後	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎
	地域活性化フィールドワークⅡ	3前	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
	食品商品学	3前	◎			△		◎		○
	卒業研究Ⅰ	4前	△	○	△	○	○	◎	◎	○
	卒業研究Ⅱ	4後	△	◎	○	○	○	◎	◎	○
専 門 選 択 科 目	食文化論Ⅰ	2前	◎					○		◎
	食文化論Ⅱ	2前	◎					○		△
	食品経済学	2後		△			△	◎	○	○
	産業組織論	2前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	食品・植物資源論	2後	○				△		◎	◎
	食品開発論Ⅰ	2後				△		○	◎	○
	サービス産業論	2後	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○
	農業ビジネス論Ⅱ	2後		△	△		○	○	○	◎
	地域コミュニケーション演習	2通	◎	◎	◎		◎		△	△
	ビジネスプロデュース論	3前	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境汚染論	2後	○				○		○	○
	農業経済学	2後		△			△	◎	○	○
	商品デザイン論	3後		△	△		△	○	◎	◎
	研究入門	3前		○	△			◎	○	△
	コンサルティング論	3前	△	○	○	○	○	◎	◎	◎
	知的財産論	3後	○	○			◎	◎	○	
	リサイクル論	3前	○				○	○	△	○
	食品製造論	3前	○	◎	○		△	△	○	◎
	環境技術論	3後	○	○				○	△	
	食品開発論Ⅱ	3後	△	○	△		◎	○	◎	△
	食品産業の危機管理	3後	○	◎	△		○	○	◎	
	食品化学	2前	△	△	△			○	◎	△
	食品分析学	2後		◎	○			○	○	○

教育目標： 生命産業創造学科は、食品、農業、環境及び健康等の生命に関わる産業において、経済学及び経営学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。										
学位授与方針： 食品、農業、環境及び健康等の産業において、経済学及び経営学を応用して地域社会に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士（応用生命科学）」の学位を授与する。 ◎：ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○：ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △：ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項										
区分		授業科目	配当学年・学期	(1) プロフェッショナリズム	(2) コミュニケーション力	(3) 経済学・経営学関連	(4) 問題発見・解決力	(5) 地域貢献力		
				・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高め、後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	・経済学・経営学関連領域の知識・技能・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
自由科目	栄養科学		2後		○	△		◎	△	
	酵素化学		2後		△				○	△
	化学工業とグリーンケミストリー		3前			○		○	◎	○
	食品微生物学		3前	○	△					
	機能食品科学		3前		△	○	○	◎	△	
	発酵醸造学		3前	△				◎	○	△
	栄養生理学		3前		◎	○		○	○	○
	廃棄物管理工学		3後	△	○	○	△	△	○	○
	食品安全学		3後	○	○			◎	○	
	食品流通学		3後	◎				◎	○	△
	公衆衛生学		3後	◎				◎	○	○
	食品の予防コントロール		4前		○	○		◎	○	
自由科目	化粧品科学		3後		○	○	○	○	○	○
	教育心理学		2後	△	○	○	◎	◎	△	△

生命産業創造学科 カリキュラムマップ (2022年度入学生用)

教育目標： 生命産業創造学科は、食品、農業、環境及び健康等の生命に関わる産業において、経済学及び経営学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。										
学位授与方針： 食品、農業、環境及び健康等の産業において、経済学及び経営学を応用して地域社会に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士（応用生命科学）」の学位を授与する。 ◎：ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○：ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △：ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			(1) プロフェッショナリズム ・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。	・前例のない課題に対しても積極的に取り組む高いモチベーションをもつことができる。	・常に自己を評価・省察し、さらに自らを高める意欲を示すことができる。	・後進指導の重要性を理解し、次世代を担う人材を育成する意欲を示すことができる。	(2) コミュニケーション力 ・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。	(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能 ・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。	(4) 問題発見・解決力 ・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。	(5) 地域貢献力 ・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。
区分	授業科目	配当学年・学期								
教養必修科目	英語Ⅰ	1前	○		○		◎	○		
	英語Ⅱ	1後	○		○		◎	○		
	フレッシュャーズ・セミナー	1前	◎		○		◎	△	△	△
	早期体験学習	1前	◎		○		◎	△	△	△
	健康管理	1後			△		◎			
	英語Ⅲ	2前	△	△	△	△	◎		△	
	英語Ⅳ	2後	△	△	△	△	◎		△	
	キャリア形成実践演習	1後～3後	○	○	○		◎			△
	情報リテラシー基礎	1前	◎	△	○	△	◎		◎	○
教養選択科目	情報リテラシー応用	1後	○	◎	○	○	◎	△	◎	◎
	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	○	○	○		◎	○		
	コミュニケーション英語Ⅱ	1後	○	○	○		◎	○		
	上級リーディング英語	2前	△	○	○	○	◎	△	△	△
	TOEIC英語Ⅰ	2後		◎	○		◎			
	TOEIC英語Ⅱ	3前		◎	○		◎			
	ドイツ語	1通	△	◎	◎	◎	◎	△	○	△
	中国語	1通	△	◎	◎	○	△	○	◎	△
	コリア語	1通	△	○	○	△	◎			
	ロシア語	1通	△	◎	○	△	◎			
	海外語学研修	2通	○	○	○		◎	○		
	ビジネス英語	3前	○	○	○		◎	○		
	地学	1後	○	○	○	○	◎	○	◎	○
	確率と統計	1前		◎	○		○		○	○
	気象学	1後		△				○	◎	◎
	昆虫と人のかかわり	1後		△	△	○		○	◎	△
	プログラミング基礎	2通	△	○					◎	○
	バイオとフードを巡る国際関係論	1後	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
	バイオとフードに関する法律	1後	◎					○	○	△
	生命倫理	1前	◎	○			○		◎	
	科学技術論	1前	○	◎	○	△	○	△	◎	○
	法学	1後						◎	○	
	歴史学	1前		○	○		◎	△		△
	マス・メディア論	1前						○	◎	
	哲学	1後		◎	◎		○		◎	○
	文化人類学	1後	◎				◎		△	○
	職業とキャリア形成Ⅰ	2通			○		◎		△	△
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○
	職業とキャリア形成Ⅱ	3後			○		◎		△	△
	スポーツ	1前			△		△			
	アロマセラピー	1通	○	○	△	○	○	○	○	○
科目	生物学入門	1前		◎	◎			○	○	
	化学入門	1前		◎	◎			○	○	
	食品・環境科学入門実験	1通		◎	○		○		△	
	地域活性化フィールドワークⅠ	1後	◎	◎	○		○	△	◎	◎

専 門 必 修 科 目	学習論	1前		◎	◎				○	
	ITアドバンス	2前	△	○	○			○	◎	○
	食品管理論	2前	△			○		◎	○	
	ブランド構築論	2前		○	△		△	○	◎	◎
	経営管理論	1前			○			◎	△	△
	基礎経済学Ⅰ	1前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	基礎経済学Ⅱ	1後	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境科学概論	2前	○			○	△	○	○	○
	社会調査論	3前	◎	△	◎		△	○	○	◎
	地域産業ビジネス論	2前	△					○		◎
	論理的思考論	1後		◎	◎				◎	
	レギュラトリーサイエンス	3前	△	◎			○		○	
	マーケティング論	2前		○				◎	○	△
	経営組織論	2後			○			◎	○	△
	農業ビジネス論Ⅰ	1後		△			△	◎	○	○
	会計学	1後	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎
	地域活性化フィールドワークⅡ	3前	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
	食品商品学	3前	◎			△		◎		○
	卒業研究Ⅰ	4前	△	○	△	○	○	◎	◎	○
	卒業研究Ⅱ	4後	△	◎	○	○	○	◎	◎	○
専 門 選 択 科 目	食文化論Ⅰ	2前	◎					○		△
	食文化論Ⅱ	2前	◎					○		△
	食品経済学	2後		△			△	◎	○	○
	産業組織論	2前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	食品・植物資源論	2後	○				△		◎	◎
	食品開発論Ⅰ	2後				△		○	◎	○
	サービス産業論	2後	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○
	農業ビジネス論Ⅱ	2後		△	△		○	○	○	◎
	地域コミュニケーション演習	2通	◎	◎	◎		◎		△	△
	ビジネスプロデュース論	3前	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境汚染論	2後	○				○		○	○
	農業経済学	2後		△			△	◎	○	○
	商品デザイン論	3後		△	△		△	○	◎	◎
	研究入門	3前		○	△			◎	○	△
	コンサルティング論	3前	△	○	○	○	○	◎	◎	◎
	知的財産論	3後	○	○			◎	◎	○	
	リサイクル論	3前	○				○	○	△	○
	食品製造論	3前	○	◎	○		△	△	○	◎
	環境技術論	3後	○	○				○	△	
	食品開発論Ⅱ	3後	△	○	△		◎	○	◎	△
	食品産業の危機管理	3後	○	◎	△		○	○	◎	
	食品化学	2前	△	△	△			○	◎	△
	食品分析学	2後		◎	○			○	○	○
	栄養科学	2後		○	△			◎	△	
	酵素化学	2後		△					○	△
	化学工業とグリーンケミストリー	3前			○			○	◎	○
	食品微生物学	3前	○	△					△	
	機能食品科学	3前		△	○		○	◎		
	発酵醸造学	3前	△					◎	○	△
	栄養生理学	3前		◎	○			○	○	○
	廃棄物管理工学	3後	△	○	○	△		△	○	○
	食品安全学	3後	○	○			◎		○	
	食品流通学	3後	◎					◎	○	△
	公衆衛生学	3後	◎				◎		○	○
	食品の予防コントロール	4前		○	○		◎	○	◎	
	香粧品の科学	3後		○	○	○		○	○	○
自由科目	教育心理学	2後	△	○	○	◎	◎		△	△

生命産業創造学科 カリキュラムマップ (2021年度入学生用)

教育目標： 生命産業創造学科は、食品、農業、環境及び健康等の生命に関わる産業において、経済学及び経営学を中心とした専門知識を理解し応用できる能力を備えた人材を育成する。											
学位授与方針： 食品、農業、環境及び健康等の産業において、経済学及び経営学を応用して地域社会に貢献できる人材を育成する本学の課程を修め、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士（応用生命科学）」の学位を授与する。 ◎：ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○：ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △：ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			(1) プロフェッショナリズム ・豊かな人間性と地域社会に貢献する使命感を持ち、経済学・経営学に携わる者としての倫理観をもって行動できる。		(2) コミュニケーション力 ・他者を尊重し、協調・協働的に課題を解決することができる良好な人間関係を構築できる。		(3) 経済学・経営学関連領域の知識・技能 ・普遍的な教養を身に付けるとともに、生命科学領域における幅広い知識・技能と経済学・経営学関連領域における専門的知識・技能を修得する。		(4) 問題発見・解決力 ・科学的探究心を備え、経済学・経営学を取り巻く諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。		
			(5) 地域貢献力 ・経済学・経営学関連領域において、地域社会が抱える諸問題を客観的・数量的に分析し、その本質を捉え、科学的・論理的な思考に基づく解決策の提案を通して地域の発展に貢献できる。								
区分	授業科目	配当学年・学期									
教養必修科目	英語Ⅰ	1前	○		○		◎	○			
	英語Ⅱ	1後	○		○		◎	○			
	初年次セミナー	1前	◎		○		◎	△		△	
	健康管理	1後			△		◎				
	データサイエンス入門	1後		○	○		○	○			
	英語Ⅲ	2前	△	△	△	△	◎	△			
	英語Ⅳ	2後	△	△	△	△	◎	△			
	キャリア形成実践演習	1後～3後	○	○	○		◎			△	
	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	○	○	○		◎	○			
	コミュニケーション英語Ⅱ	1後	○	○	○		◎	○			
教養選択科目	上級リーディング英語	2前	△	○	○	○	◎	△	△	△	
	TOEIC英語Ⅰ	2後		◎	○		◎				
	TOEIC英語Ⅱ	3前		◎	○		◎				
	中国語	2通	△	◎	◎	○	△	○	◎	△	
	韓国語	2通	△	○	○	△	◎				
	海外語学研修	2通	○	○	○		◎	○			
	ビジネス英語	3前	○	○	○		◎	○			
	基礎数学	1前		◎	○		○	○		○	
	地学	1後	○	○	○	○	◎	○	◎	○	
	確率と統計	1前		◎	○		○	○		○	
	生命情報科学概論	1前	△		△		○	○			
	プログラミング基礎	2通	△	○					◎	△	
	バイオとフードを巡る国際関係論	1後	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	
	バイオとフードに関する法律	1後	◎					○	○	△	
	生命倫理	1前	◎	○			○		◎		
	科学技術論	1前	○	◎	○	△	○	△	◎	○	
	法学	1後						◎	○		
	歴史学	1前		○	○		◎	△		△	
	職業とキャリア形成Ⅰ	2通			○		◎		△	△	
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○	
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2通	○	○	○	△	○	○	○	○	
	職業とキャリア形成Ⅱ	3後			○		◎		△	△	
	スポーツ	1前			△		△				
	専門科目	生物学入門	1前		◎	◎			○	○	
		化学入門	1前		◎	◎			○	○	
		食品・環境科学入門実験	1通		◎	○		○		△	
地域活性化フィールドワークⅠ		1後	◎	◎	○		○	△	◎	◎	
学習論		1前		◎	◎				○		
ITリテラシー基礎		1前	○				△	◎	○	△	
ITリテラシー応用		1後	◎		○		○	◎	○	△	
ITアドバンスト		2前	△	○	○			○	◎	○	
食品管理論		2前	△			○		◎	○		

専 門 必 修 科 目	ブランド構築論	2前		○	△		△	○	◎	◎
	経営管理論	1前			○			◎	△	△
	基礎経済学Ⅰ	1前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	基礎経済学Ⅱ	1後	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境科学概論	2前	○			○	△	○	○	○
	社会調査論	3前	◎	△	◎		△	○	○	◎
	地域産業ビジネス論	2前	△					○		◎
	論理的思考論	1後		◎	◎				◎	
	レギュラトリーサイエンス	3前	△	◎			○		○	
	マーケティング論	2前		○				◎	○	△
	経営組織論	2後			○			◎	○	△
	農業ビジネス論Ⅰ	1後		△			△	◎	○	○
	会計学	1後	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎
	地域活性化フィールドワークⅡ	3前	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎
	食品商品学	3前	◎			△		◎		○
	卒業研究Ⅰ	4前	△	○	△	○	○	◎	◎	○
	卒業研究Ⅱ	4後	△	◎	○	○	○	◎	◎	○
専 門 選 択 科 目	食文化論Ⅰ	2前	◎					○		△
	食文化論Ⅱ	2前	◎					○		△
	食品経済学	2後		△			△	◎	○	○
	産業組織論	2前	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	食品・植物資源論	2後	○				△		◎	◎
	食品開発論Ⅰ	2後				△		○	◎	○
	サービス産業論	2後	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○
	農業ビジネス論Ⅱ	2後		△	△		○	○	○	◎
	地域コミュニケーション演習	2通	◎	◎	◎		◎		△	△
	ビジネスプロデュース論	3前	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
	環境汚染論	2後	○				○		○	○
	農業経済学	2後		△			△	◎	○	○
	商品デザイン論	3後		△	△		△	○	◎	◎
	研究入門	3前		○	△			◎	○	△
	コンサルティング論	3後	△	○	○	○	○	◎	◎	◎
	知的財産論	3後	○	○			◎	◎	○	
	リサイクル論	3前	○				○	○	△	○
	食品製造論	3前	○	◎	○		△	△	○	◎
	環境技術論	3後	○	○				○	△	
	食品開発論Ⅱ	3後	△	○	△		◎	○	◎	△
	食品産業の危機管理	3後	○	◎	△		○	○	◎	
	食品化学	2前	△	△	△			○	◎	△
	食品分析学	2後		◎	○			○	○	○
	栄養科学	2後		○	△			◎	△	
	酵素化学	2後		△					○	△
	化学工業とグリーンケミストリー	3前			○			○	◎	○
	食品微生物学	3前	○	△						
	機能食品科学	3前		△	○		○	◎	△	
	発酵醸造学	3前	△					◎	○	△
	栄養生理学	3前		◎	○			○	○	○
	廃棄物管理工学	3後	△	○	○	△		△	○	○
	食品安全学	3後	○	○			◎		○	
	食品流通学	3後	◎					◎	○	△
	公衆衛生学	3後	◎				◎		○	○
	食品の予防コントロール	4前		○	○		◎	○	◎	
自由科目	教育心理学	2後	△	○	○	◎	◎		△	△

生命産業創造学科 カリキュラムマップ（2019年度及び2020年度入学生用）

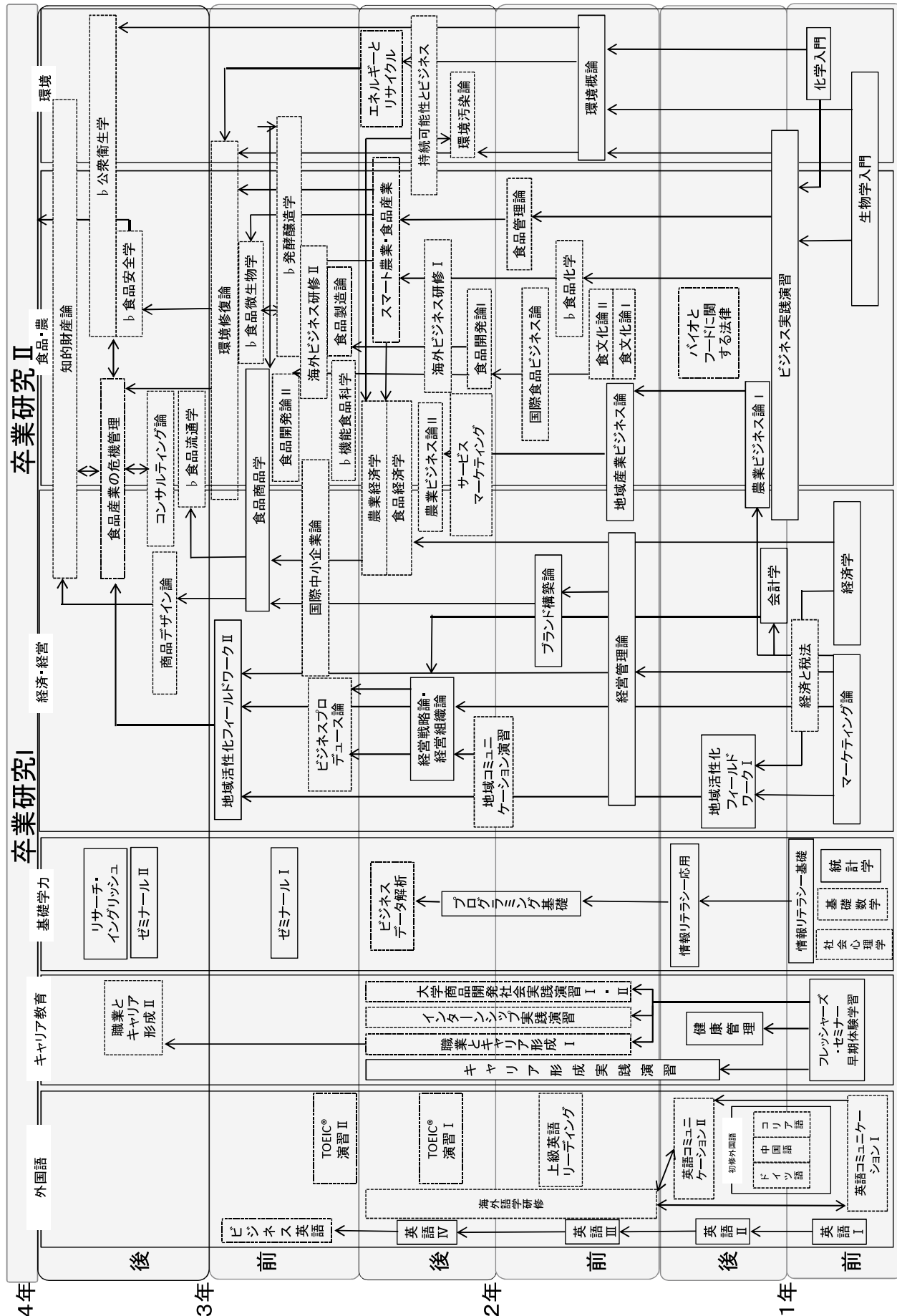
教育目標： 生命産業創造学科は、食品、農環境等の生命産業に関する技術や素材の基礎知識を修得しながら、主として農学分野における経済学及び経営学を駆使することで、企画、開発、経営に優れた専門人材を育成する。																				
学位授与方針： 生命産業創造学科は、所定の単位を修得し、次のような能力を身につけた者に対して卒業を認定し、学位を授与する。			(1) 生命を尊重する心、他人を思いやる心を持つ豊かな人間性と倫理観を備え、人々との共感の累積をめざすコミュニケーション能力を有する。			(2) 生命・食料・農業・環境に関わる産業領域の課題に取り組む、基盤となる幅広い知識と教養を備え、柔軟な思考力を有する。			(3) 農林水産業および食品・環境・生命産業の事業の経営課題に取り組むための広い視野と積極的な意欲を持てる能力を有する。			(4) 情報通信技術(ICT)を用いて情報を収集・分析し、適正に判断して活用できる能力を有する。			(5) 修得した科学的知識や洞察力に基づき、客観的かつ論理的に思考し、プレゼンテーションできる能力を有する。			(6) 地域社会と国際社会の変化に注視し、広い視野を持って積極的に活躍しようとする意欲を持続できる能力を有する。		
◎：ディプロマポリシー達成へ向け、特に重要な事項、 ○：ディプロマポリシー達成へ向け、重要な事項、 △：ディプロマポリシー達成へ向け、望ましい事項			倫理観 (態度・志向性)	チームワーク (態度・志向性)	コミュニケーション能力 (汎用的技能)	専門分野の知識・技能 (知識・理解)	課題探求能力	専門分野の知識・技能 (知識・理解)	リーダーシップ (態度・志向性)	課題探求能力	情報リテラシー (汎用的技能)	論理的思考力 (汎用的技能)	プレゼンテーション能力 (汎用的技能)	市民としての社会的責任 (態度・志向性)	文化、社会、自然に関する知識の理解 (知識・理解)	リーダーシップ (態度・志向性)	総合的な学習 経験と創造的 思考力			
区分	授業科目	配当学期																		
教養必修科目	英語Ⅰ	1前	△	○	◎	△	○	○	○	△			○	○	◎	○	○			
	英語Ⅱ	1後	○	○	◎	△	○	○	○	△			○	○	◎	○	○			
	初年次セミナー	1前	○	◎	◎							○	◎	◎	◎	○	◎			
	健康管理	1後						△												
	英語Ⅲ	2前	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	△	◎	◎	○	○	◎	◎			
	英語Ⅳ	2後	○	◎	◎	△	○	△	△	○	○	◎	◎	○	◎	△	◎			
	キャリア形成実践演習	1後～3後	◎	◎	◎									◎	○					
教養選択科目	バイオとフードを巡る国際関係論	1後	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎			
	バイオとフードに関する法律	1後	◎			○		○				△		○	△					
	生命倫理	1前	◎									◎		◎	◎		◎			
	科学技術論	1前	◎	○	△	◎	◎	◎	○	◎	△	◎	△	○	◎	○	◎			
	法学	1後					△			△		○		◎	○		△			
	歴史学	1前	△			△		△			○			○	◎		○			
	基礎数学	1前					○			○		◎			◎					
	地学	1後	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎			
	確率と統計	1前				△					○	◎	△				○			
	スポーツ	1前	△	△	△															
	生命情報科学概論	1前	△								◎									
	コミュニケーション英語Ⅰ	1前		◎	◎	◎						◎	◎		○					
	コミュニケーション英語Ⅱ	1後		◎	◎	◎						◎	◎		○					
	上級リーディング英語	2前			◎		○					◎	◎	◎	◎		○			
	TOEIC英語入門	2後			◎								○		○					
	TOEIC英語基礎	3前			◎								○		○					
	中国語Ⅰ	2前	△	△	◎							○	△	○	○		◎			
	中国語Ⅱ	2後	△	△	◎							○	△	○	○		◎			
	韓国語Ⅰ	2前	△	○	◎						△	○	○		◎		○			
	韓国語Ⅱ	2後	△	○	◎						△	○	○		◎		○			
	海外語学研修	2通	◎	◎	◎							△	◎	◎	◎	△	◎			
	職業とキャリア形成Ⅰ	3前	◎	◎	◎					△				◎	○					
	大学商品開発社会実践演習Ⅰ	2通	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	大学商品開発社会実践演習Ⅱ	2通	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	職業とキャリア形成Ⅱ	3後	○	◎	◎						△	△	◎	◎	○	○				
	英語Ⅴ	3前	○	○	◎	△	△	△	○	△	◎	◎	◎	○	◎	○	◎			
	英語Ⅵ	3後	○	○	◎	△	○	△	○	△	◎	◎	◎	○	◎	○	◎			
	プログラミング基礎	2通	△			○	◎	○	○	○	◎	○					○			
専門科目	生物学入門	1前				◎						△	△		○					
	化学入門	1後				△	△			△		△	◎				○			
	食品・環境科学入門実験	1通		△	△	◎	○	△				○	○		○		△			
	地域活性化フィールドワークⅠ	1後	△	◎	○		○			○	○	○	◎	◎	○	○	○			
	学習論	1前		△	△							◎	◎			△	△			
	ITリテラシー基礎	1前	○		△						◎									
	ITリテラシー応用	1後	○		○		△			△	◎		○		○		○			
	食品管理論	2前	◎					◎												
	食文化論Ⅰ	2前				◎		◎							○					

専 門 必 修 科 目	食文化論Ⅱ	2前	◎	○	○	◎	○	◎	△	○	△	○	○	○	◎	△	◎
	ブランド構築論	2前			△	◎	△	◎	○	○		○			○	△	○
	経営管理論	1前			△	○	○	◎	○	◎							○
	基礎経済学	1前	△	△	△	◎	○	◎	△	○	△	△	△	△	△	△	△
	食品・植物資源論	2後				◎		◎			△						
	食品開発論Ⅰ	2後				◎				◎					○		
	環境科学概論	2前				◎		○			△			○	△		
	社会調査論	2前	△			◎	○	△				○		△			○
	地域産業ビジネス論	2前				◎	○							○	○		○
	論理的思考論	1後			○							◎	◎			○	
	レギュラトリーサイエンス	3前				◎	△					◎		○	○		○
	マーケティング論	1後				◎		○		△		△					
	経営組織論	1後	△	△	△	◎	○	◎	△	○	△	○	○	△	△	△	△
	農業ビジネス論Ⅰ	1後	△			◎	△	◎		△		△			△		○
	地域活性化フィールドワークⅡ	3前	△	◎	○	○	△	○		○				◎	△	○	◎
	食品商品学	3前				◎		○					○				△
	卒業研究Ⅰ	4前		◎	○	◎	○	◎		○		◎	◎				○
	卒業研究Ⅱ	4後		◎	○	◎	○	◎		○		◎	◎				○
専 門 選 択 科 目	産業会計学	1後	△	△	△	◎	○	◎	△	○	△	△	△	△	△	△	△
	ITアドバンスト	2前									◎	○			△		○
	食品経済学Ⅰ	2前	○	○	◎	○	◎	◎	△	○	△	○	◎	◎	◎	◎	◎
	サービス産業論	2後				◎		◎						○			○
	農業ビジネス論Ⅱ	2後			○	◎	○	◎		○		◎			△		○
	地域コミュニケーション演習	2通		◎	◎		◎	○	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○
	起業論	3前	○			◎	◎	◎	○	◎		○	△	○	◎	○	○
	低炭素論	3前	◎	△	○	◎	○	◎	○	○	○	○	△	○	△	△	○
	環境汚染論	2後				◎	△	◎	○		○	○		△			
	食品経済学Ⅱ	2後	△			○	△	◎		△		△			△		
	農業経済学	2後	△			◎	△	◎		△		○			△		△
	商品デザイン論	3後		△	△	○	◎	○		◎		◎	○	△			
	研究入門	3前			△	◎	○	◎		○	○	○	△				○
	コンサルティング論	3前				○	○			○		◎	○				○
	知的財産論	3後				○		◎			○						△
	リサイクル論	3前				◎	△	◎	○		○	○					
	食品製造論	3前	○	△	△	◎	△	◎		△		△		○			
	環境技術論	3後				◎		◎	○			○					
	スマートシティ論	3後	◎	△	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○	○	△	○	◎
	食品開発論Ⅱ	3後	△	○	○	◎		○	△			○	○	△			○
	食品産業の危機管理	3後				◎		○					○		○		○
	食品化学	2前				◎	○	◎		△		△			○		△
	食品分析学	2後				◎	○	◎		△		△			○		△
	栄養科学	2後				◎	○	◎		△		△			○		△
	酵素化学	2後				○	△								○		○
	化学工業とグリーンケミストリー	3前				◎	○	○			○	△		○	△		
	食品微生物学	3前	△			◎	○	○		○	○	○		○	◎		○
	機能食品科学	3前		△		◎	○	◎		△		△			○		△
	発酵醸造学	3前				◎	○	○		△	○	△		○	◎		
	栄養生理学	3前				◎	○	◎		△		△			○		△
	廃棄物管理工学	3後				◎	△	◎	○		○	○		○			
	食品安全学	3後		◎	◎	◎		○	○	△		◎	○				
	公衆衛生学	3後	◎			◎	○	○		○		○		△	◎		○
	食品の予防コントロール	4前		○	○	◎	◎						○				
	食品流通学	3後				◎		○					○		○		△
自由科目	教育心理学	2後	◎	○	◎						△		△				

食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2025年度以降の入学生に適用）

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーションを身に着けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関や食品関連企業等（食品製造、商社、卸小売、農協等）の経営・企画・商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目

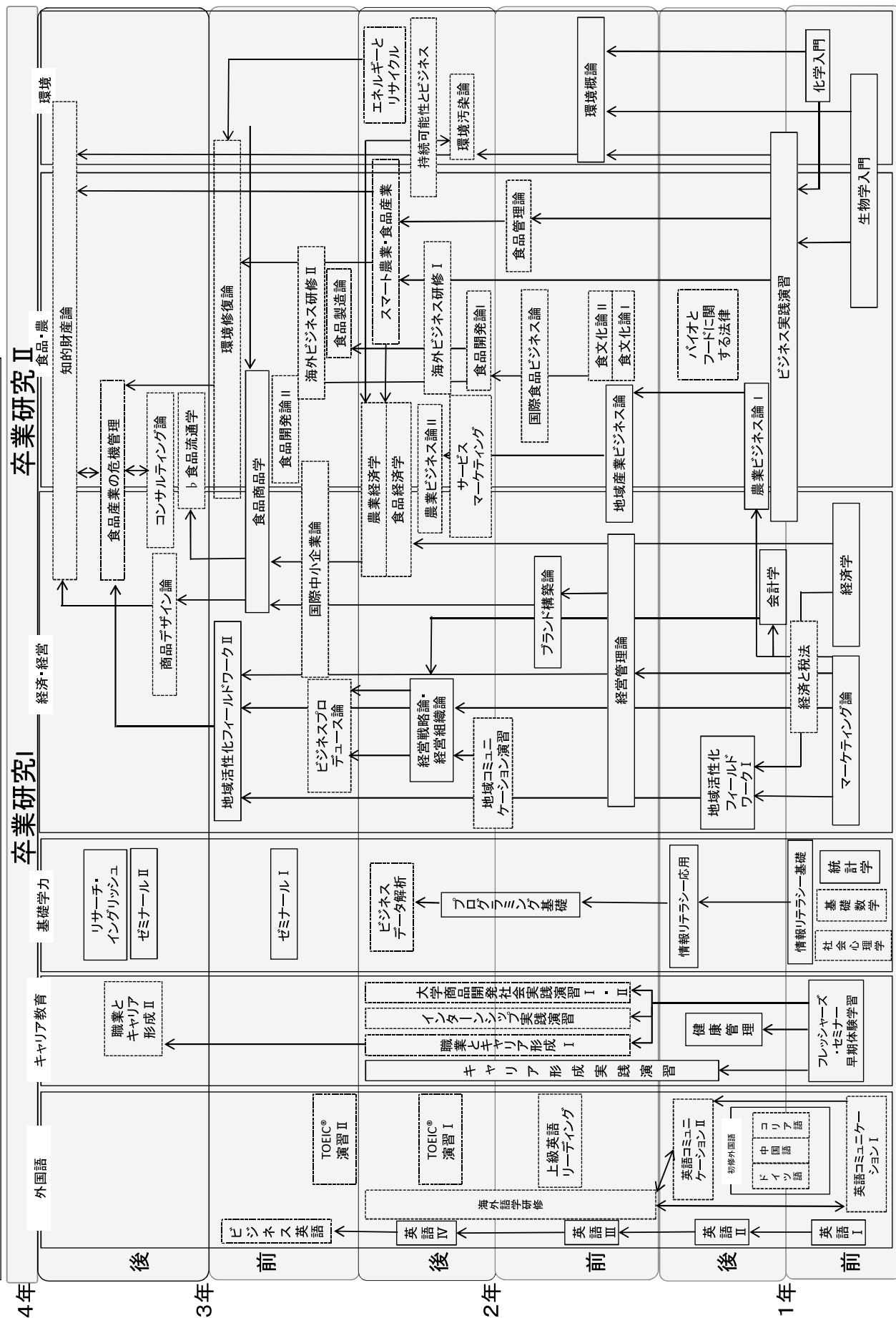


経済学・経営学分野・国際中小ビジネス分野カリキュラムツリー

(2025年度以降の入学生に適用)

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織(NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等)の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

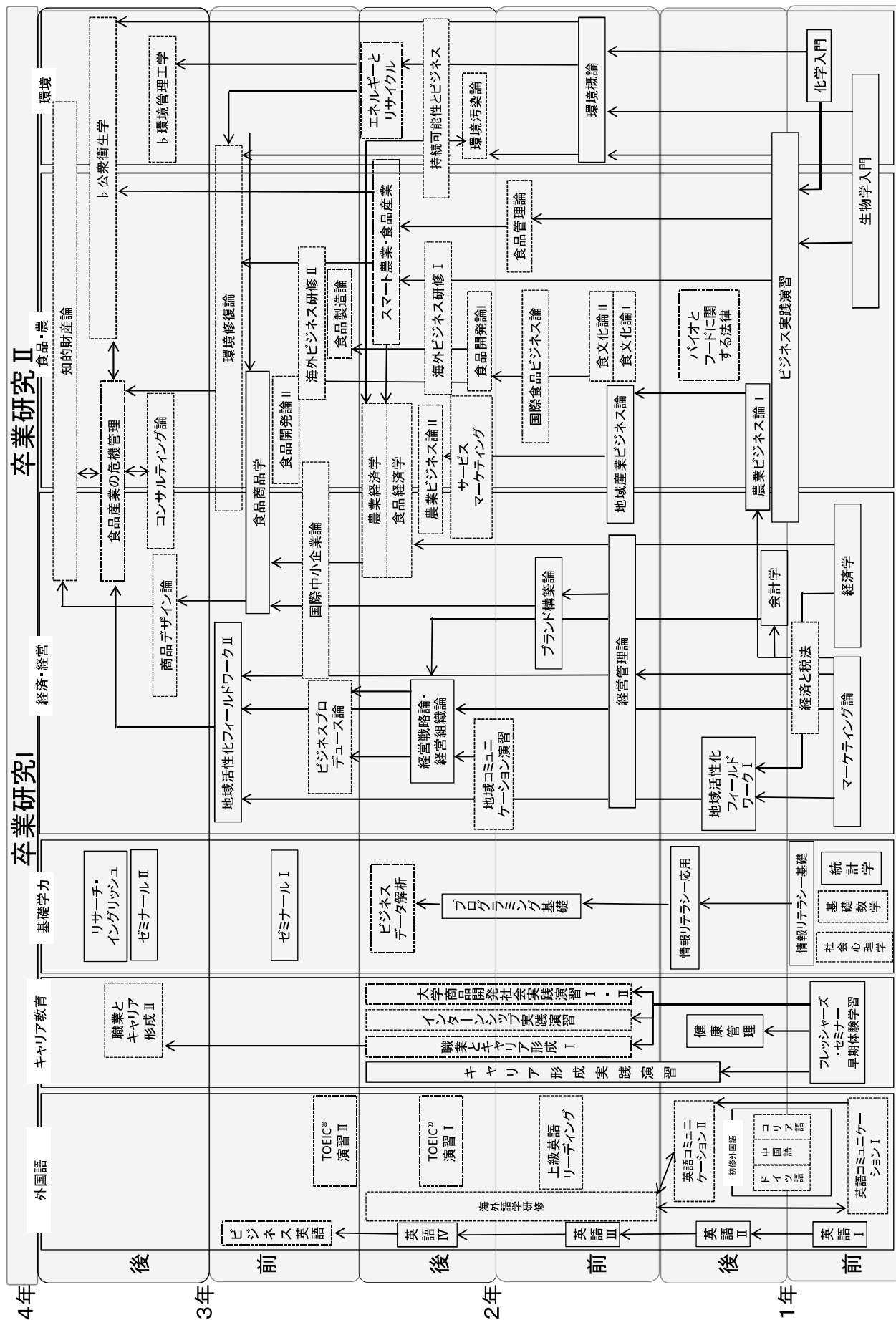
実線……必修科目、点線……選択科目
b……応用生命科学に関連が深い科目



環境ビジネス分野・基礎科学ビジネス分野カリキュラムツリー（2025年度以降の入学生に適用）

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識、生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、様々な社会の課題や環境問題について深く学び、環境関連産業（下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業、各種企業環境部門等）の渉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

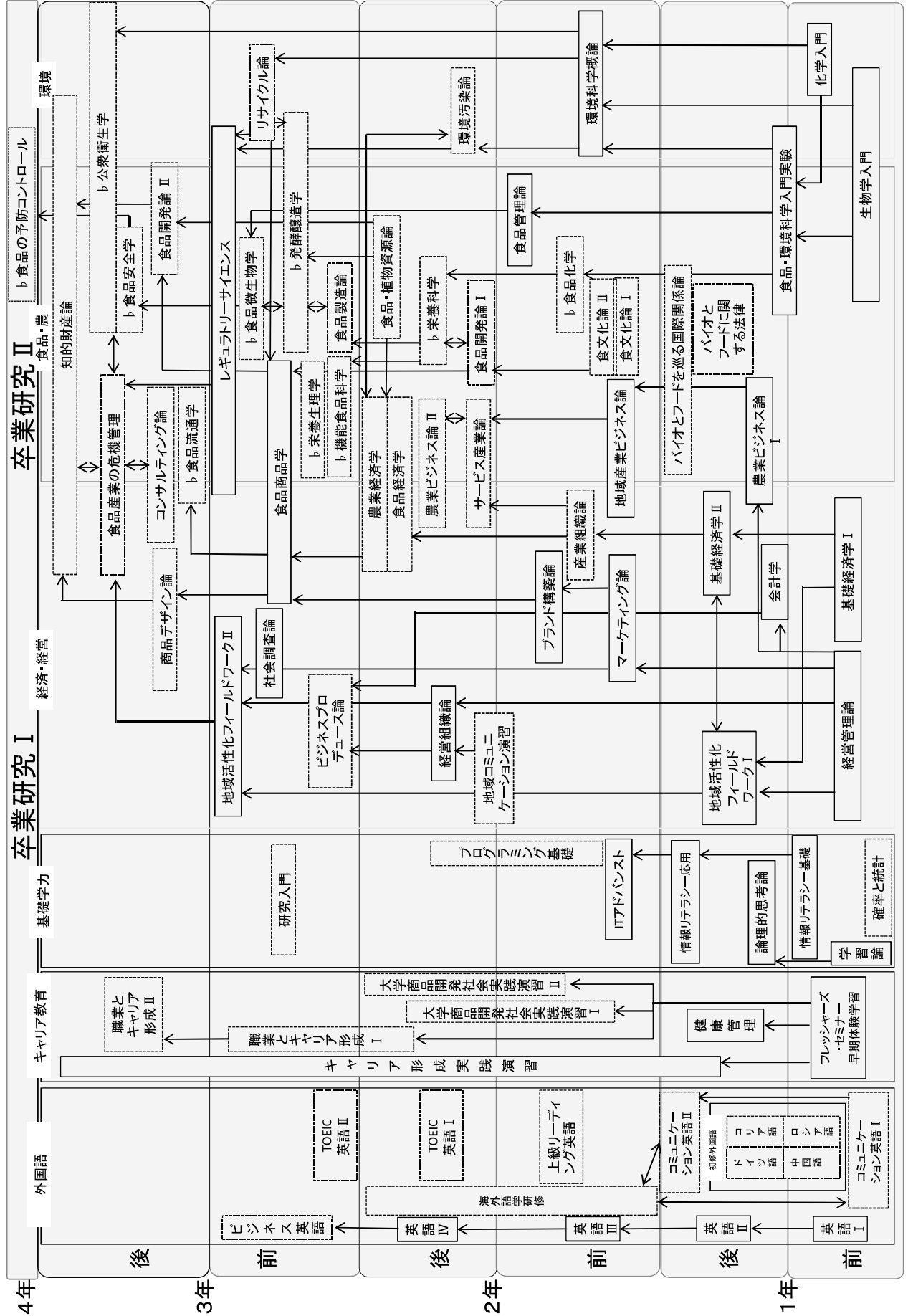
実線……必修科目、点線……選択科目
b……応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に付けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関や食品関連企業等（食品製造、商社、卸小売、農協等）の経営・企画・商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

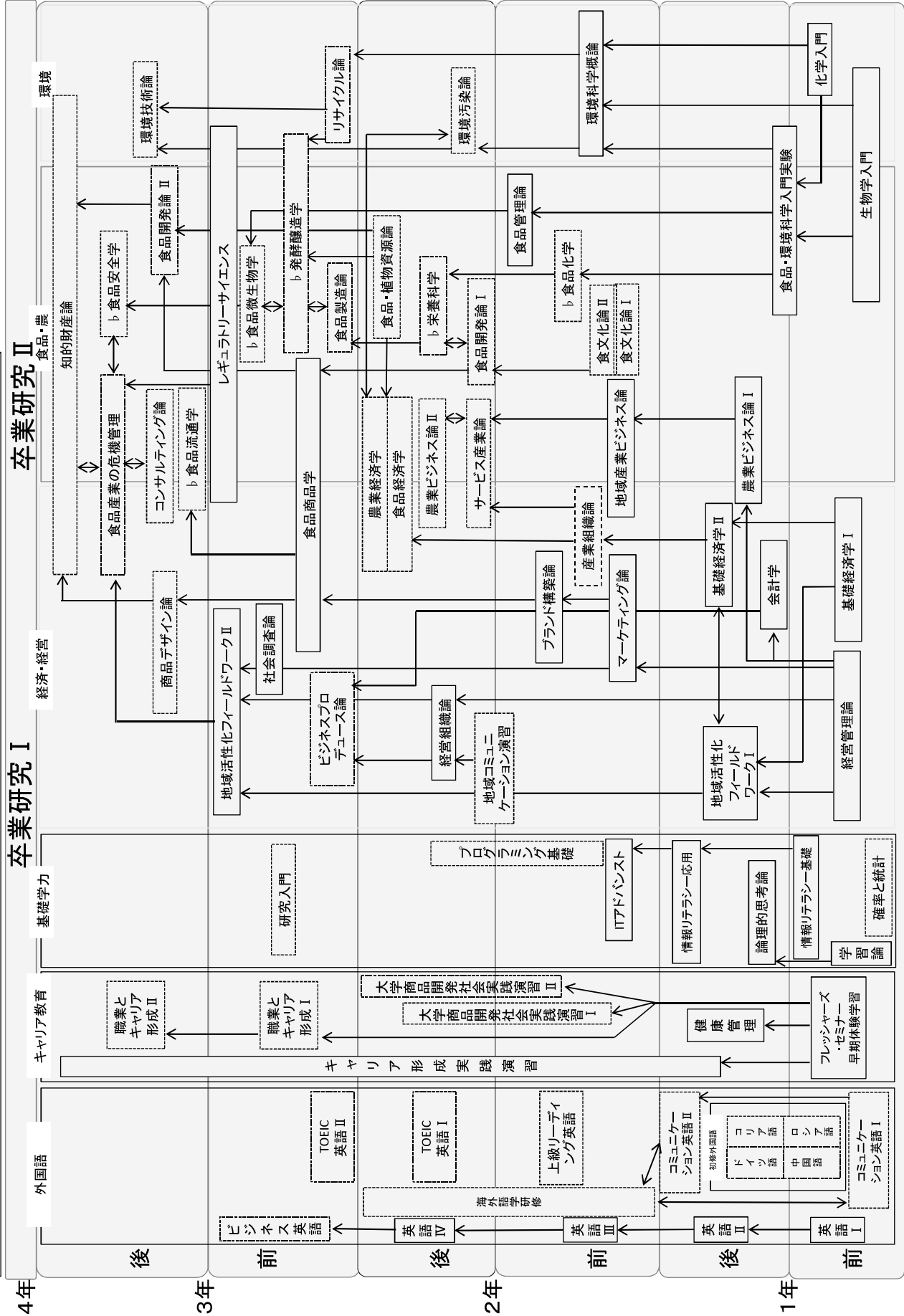
実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



経済学・経営学分野・国際中小ビジネス分野カリキュラムツリー（2023年度及び2024年度の入学生に適用）

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織（NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等）の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

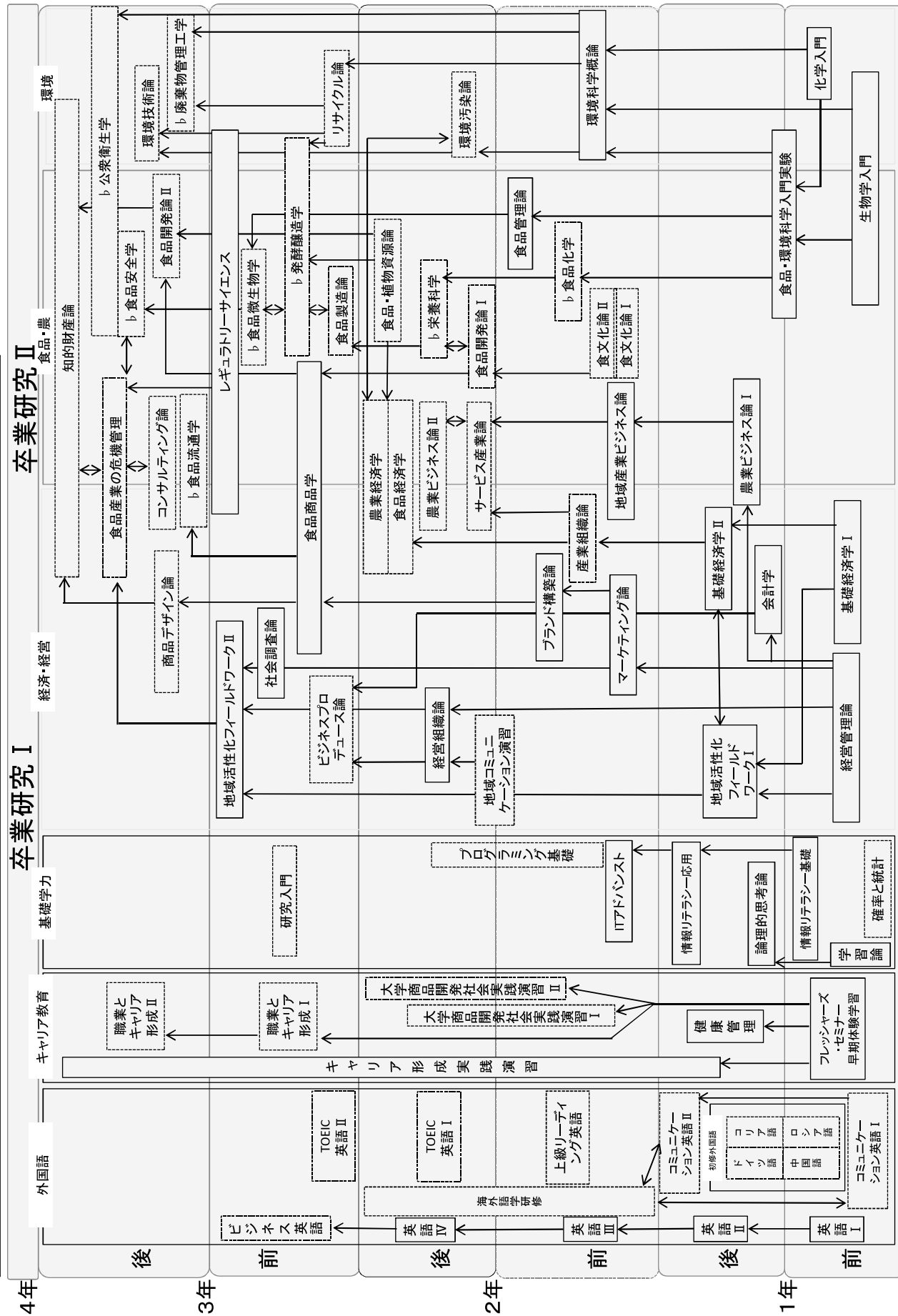
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
↳・・・応用生命科学に関連が深い科目



環境ビジネス分野・基礎科学ビジネス分野カリキュラムツリー (2023年度及び2024年度の入学生に適用)

【人材像】経営学や経済学等の社会科学に関する知識、生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、様々な社会の課題や環境問題について深く学び、環境関連産業(上下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業、各種企業環境部門等)の涉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

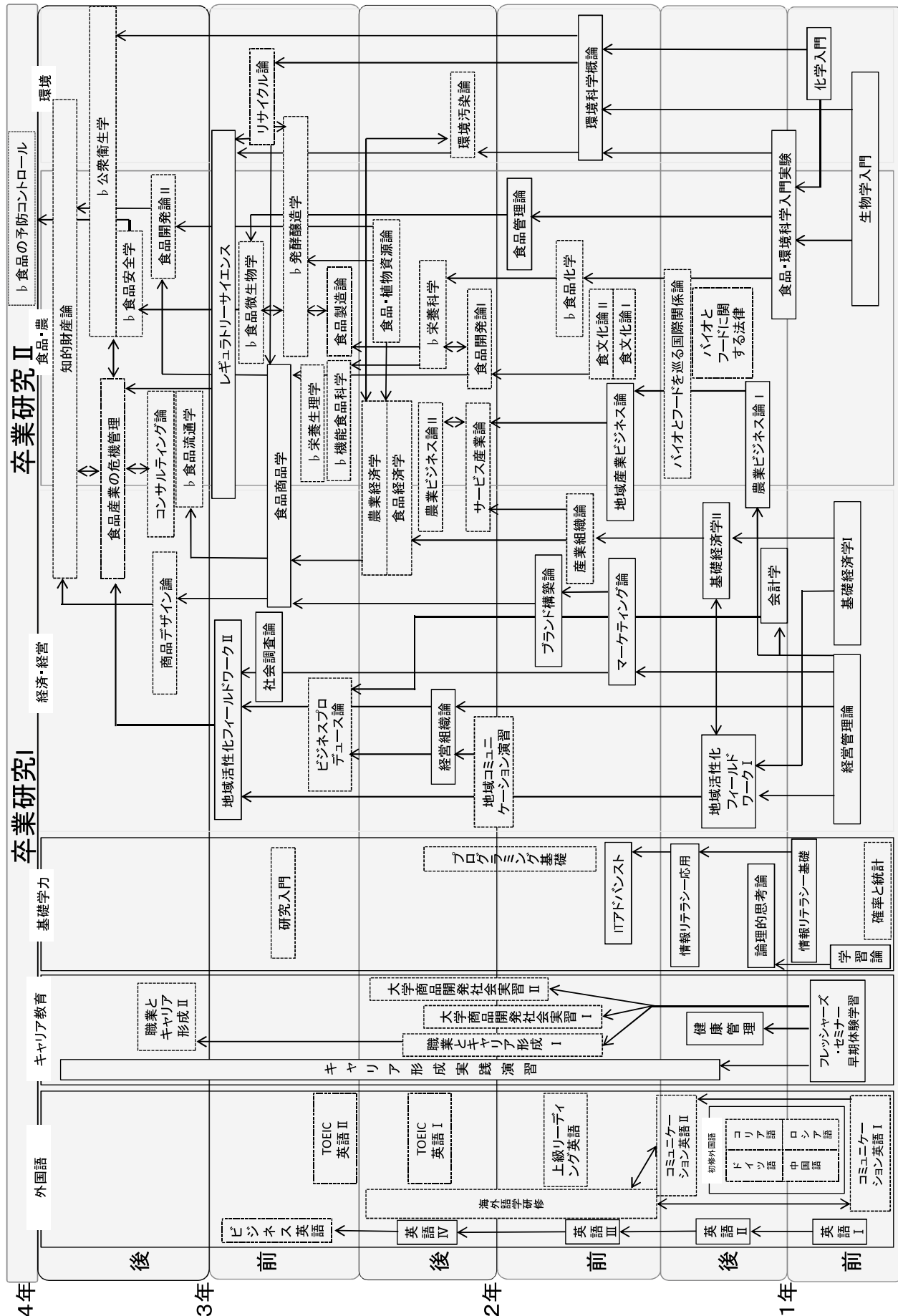
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2022年度入学生に適用）

【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に着けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関・農協等での農業政策の企画・運営、飲食品製造販売会社での商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

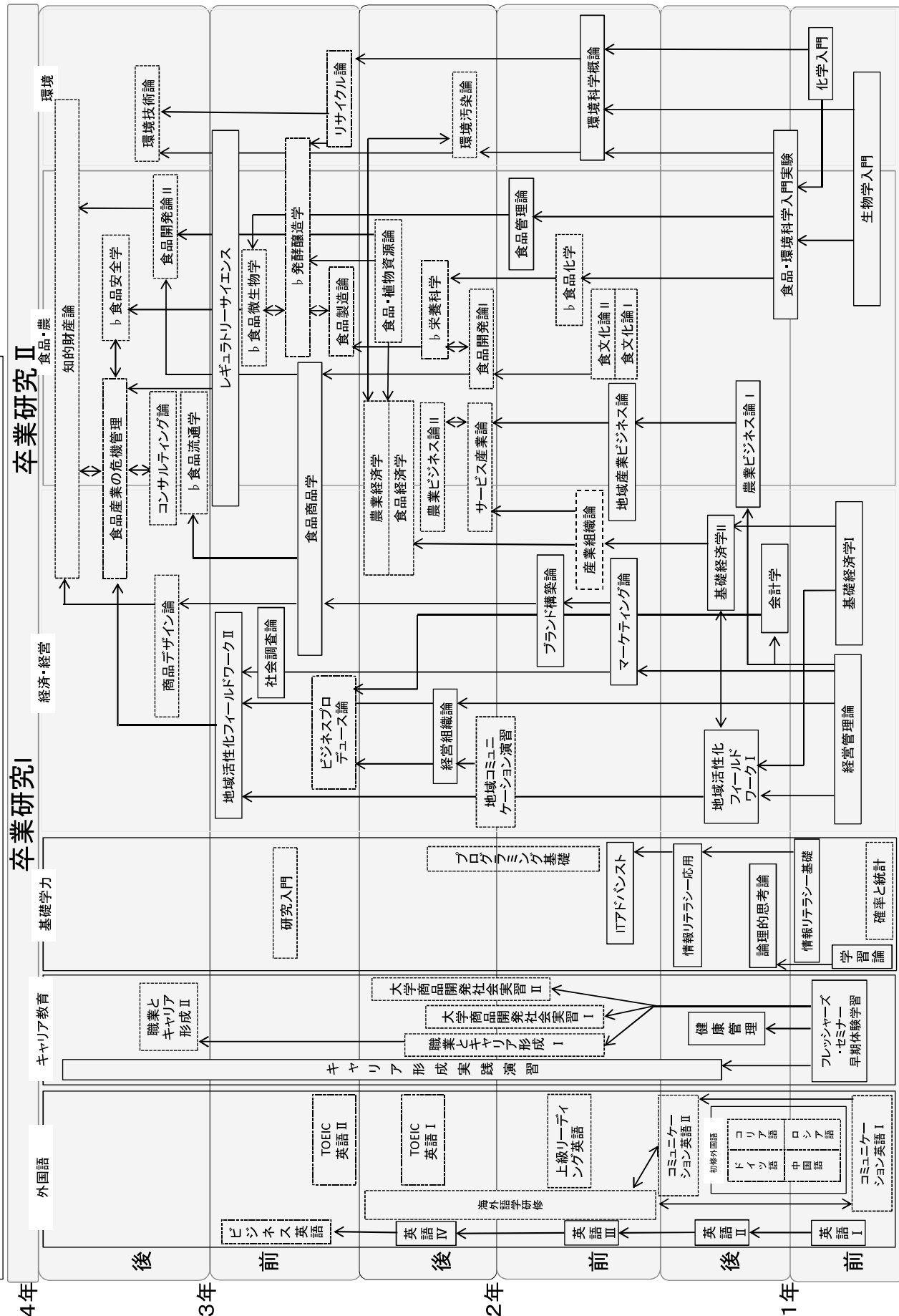
実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



経済学分野・経営学分野カリキュラムツリー (2022年度入学生に適用)

【人材像】 経営学や経済学等の社会科学に関する知識を理解した上で、グローバル社会や地域活性化等の経営・経済等社会に関わる知識について深く学び、企業・行政・市民社会組織(NPO/NGO、農協漁協、学校、病院等)の企画・開発・製造・マーケティング・管理部門等経営に関する全般で活躍できる人材を育成する。

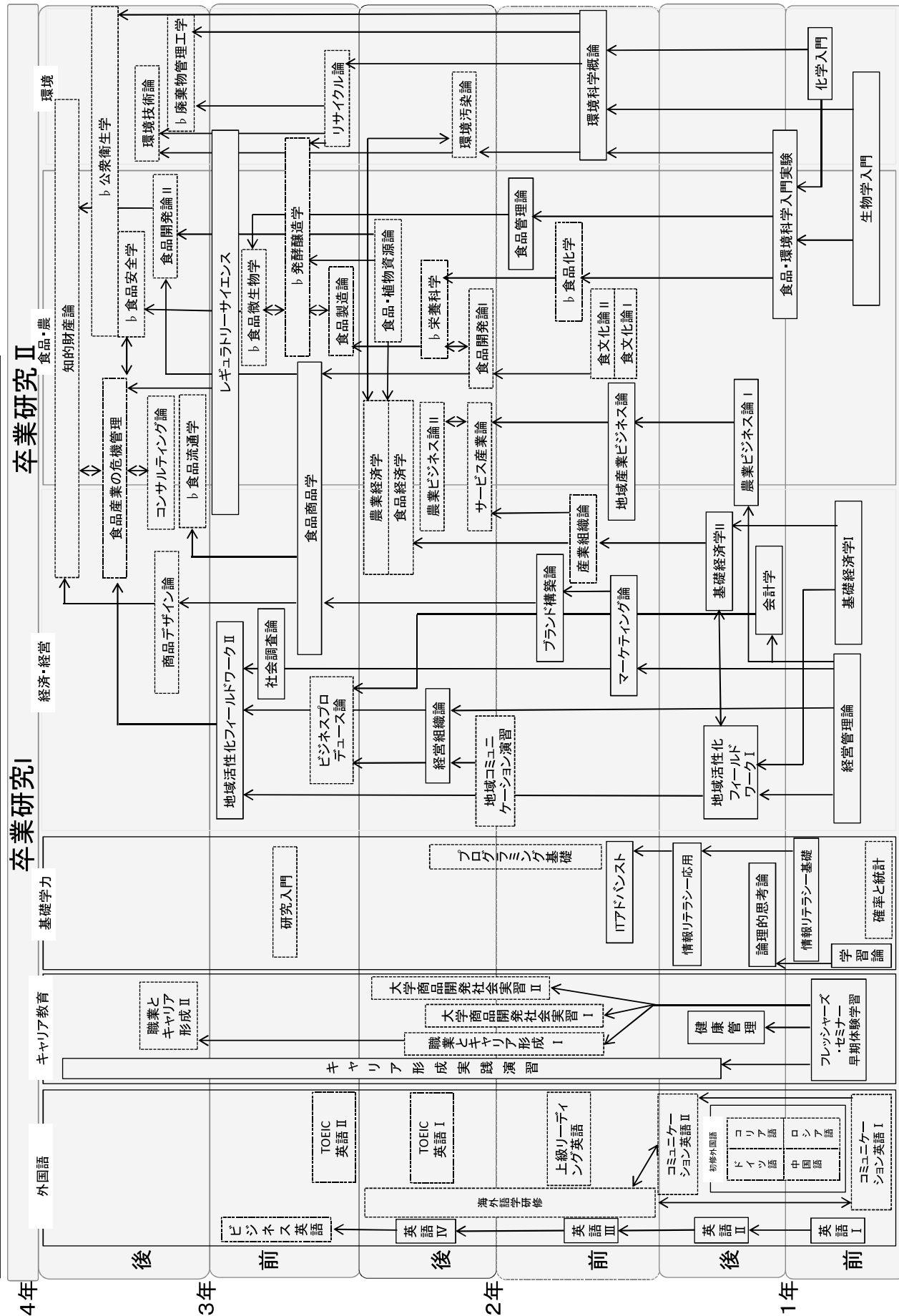
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



地域活性化分野・環境ビジネス分野カリキュラムツリー（2022年度入学生に適用）

【人材像】生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、環境汚染や廃棄物管理等の環境産業等の環境産業に関する知識について深く学び、上下水道サービス、廃棄物処分業、環境分析企業の渉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

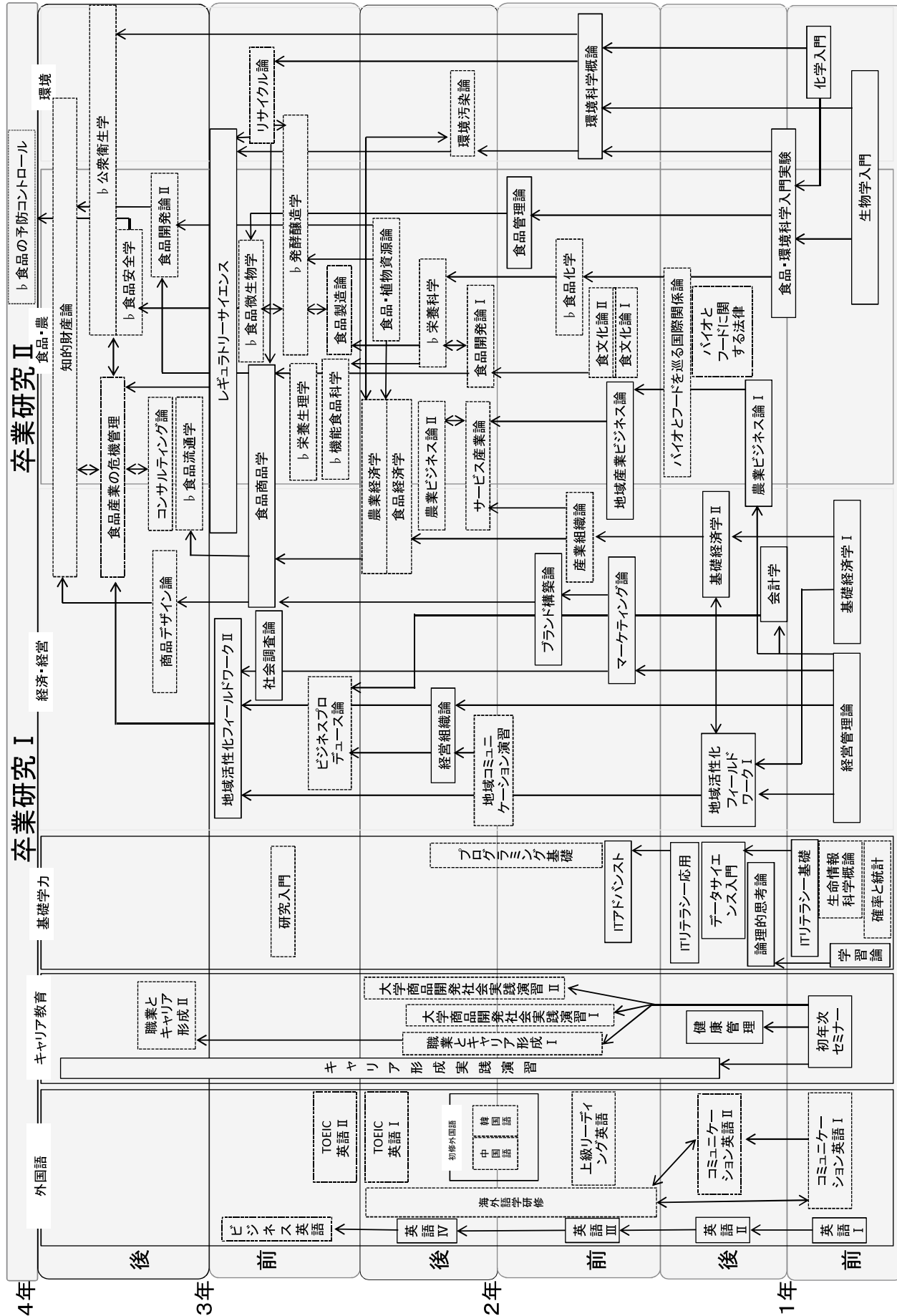
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



食品ビジネス分野・農業ビジネス分野カリキュラムツリー（2021年度入学生に適用）

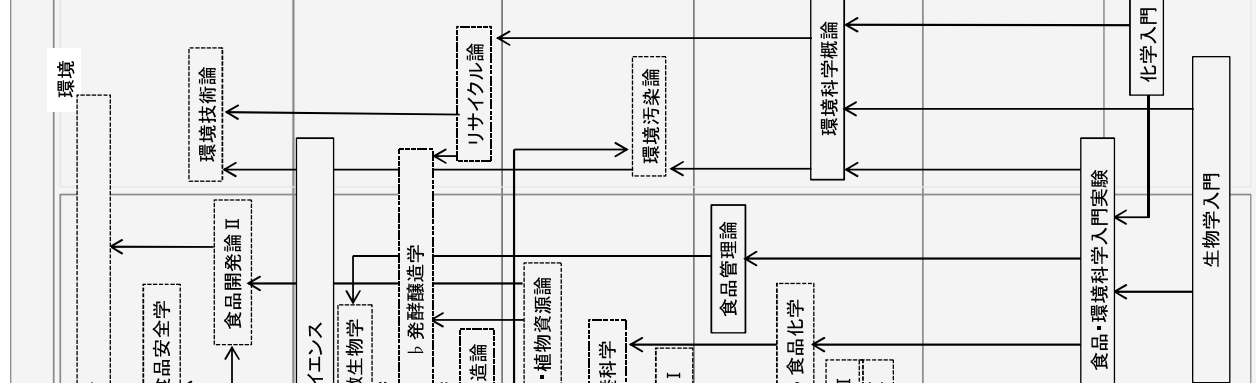
【人材像】経営学・経済学に関する基礎知識やマーケティング・ブランディングなどのビジネスに必要な知識を修得し、地域や関係機関とのコミュニケーション力を身に付けながら農業・食品分野の専門的な知識を修得することで、行政機関・農協等での農業政策の企画・運営、飲食品製造販売会社での商品開発・マーケティングなどで活躍できる人材を育成する。

実線……必修科目、点線……選択科目
 b……応用生命科学に関連が深い科目



21年度入学生に適用)

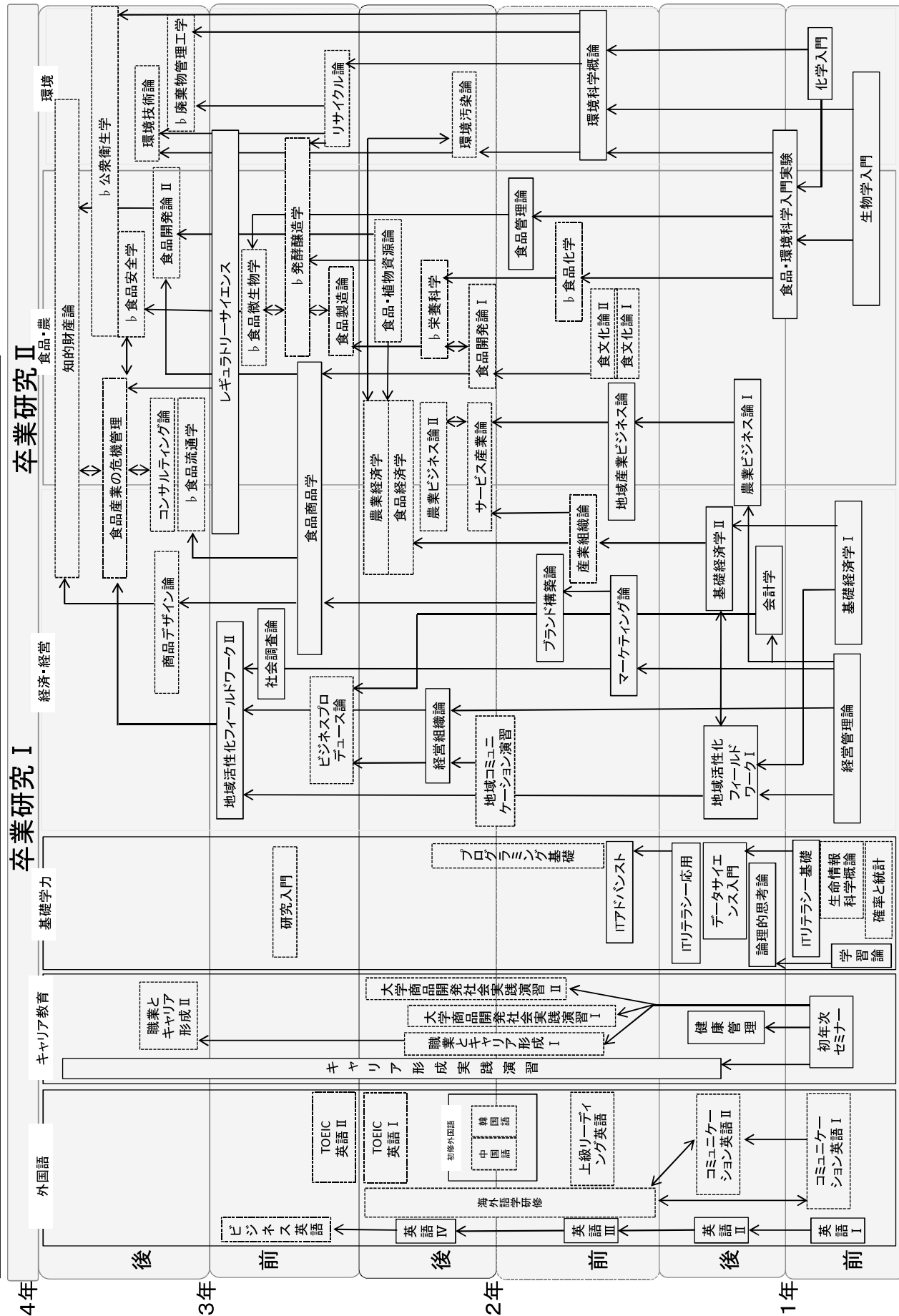
実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
b・・・応用生命科学に関連が深い科目



地域活性化分野・環境ビジネス分野カリキュラムツリー（2021年度入学生に適用）

【人材像】生物学や化学等の基礎科学に関する知識を理解した上で、環境汚染や廃棄物管理等の環境産業等の環境分野に関する知識について深く学び、上下水道サービス、廃棄物処分量、環境分析企業の渉外・技術営業担当・各種メーカーの環境部門担当者・地域政策の企画運営等で活躍できる人材を育成する。

実線・・・必修科目、点線・・・選択科目
 b・・・応用生命科学に関連が深い科目



生命産業創造学科カリキュラムツリー

(2019年度及び2020年度の入学生に適用)

実線……必修科目、点線……選択科目

